



# 池田小だより

3月号 No. 13

新座市立池田小学校 令和6年2月29日(木)

学校のキャッチフレーズ

「やる気・ゆう気・げん気あふれる学校 池田小」

## 学校生活・グローバルの基本をつくる

校長 鶴田 千尋

寒暖の差が激しかった2月も終わりいよいよ3月になります。もう間もなく、春はもう目の前です。学校においては、3月は最後のまとめをする時期です。現在の学年の集大成、学習だけでなく、ぜひ一年の生活を親子で振り返って、成長したこと、改善すべきことを明確にして新学期に備えていただきたいと存じます。

### グローバル人材

新型コロナウイルス感染症の5類移行以来、海外からの観光客がコロナ禍以前にもまして増加しているという話を聞きます。国際化という言葉もすでに一般化し、昨今ではグローバル化という言葉の方が実態を強く表すように思います。

学校でも令和2年度から、外国語、外国語活動が教科化され、小学校でも積極的に授業が実施されています。保護者の皆さんも、来校された際に授業を参観されたことがあるのではないかと思います。新座市では、平成16年から令和元年まで16年間にわたり国の認証を受けて、「英会話の時間」を先進的に実施していました。1年生から6年生までの全学年で、週1時間の授業を行ってきたという実績があります。

外国語(特に英語)の学習においては、「話す、聞く、書く、読む」という内容があります。小学校では、「話す、聞く」を中心にしながらも「読む、書く」についても取り組んでいます。

6年生になると、数行にわたる英文を発

音したり読解したりします。単語を記述することで簡単な英文をつくることもできるようになります。もちろん、歌やダンスなどをおして身に付けさせる表現力、これらは学習の肝でもあります。コミュニケーション能力の一つとして「使える手段」としての英語学習に取り組んでいます。おそらく、10年、20年後には英語は生活上必須の知識・能力になるはずです。その日のための基礎を築いていくことはとても有意義なものと推察します。

中学校に進学すると、英語学習の重要度は一層増してきますが、小学校で学んだ英語の楽しさを持ち続けて欲しいものです。そして、将来グローバル化した世界で広く活躍できる人になることを望みます。

私のように、電車の中などで海外からの旅行者に話しかけられて、微笑んでいるだけの状況は、もうなくしたいものです。

### 新しい学年になる前に

いよいよ今年度も終わりに近づいてきました。新しい学年になる前に、やり残したことはありませんか。例えば、九九、漢字、二重とび、リコーダーなど、できないままになっているものはないでしょうか。

3月は、まとめと同時に準備の時期でもあります。できないことが有ると新しい学年のスタートで出遅れてしまいます。「春休みになったらするからいい」、ではなく、今から少しずつ頑張ってみるとよいと思います。よろしくお願いします。



池田小創立50周年記念  
キャラクター「いけぼん」

新座市立池田小学校

〒352-0015 新座市池田4-8-49 (HP) <https://e-ikeda-c-niiza.edumap.jp/>

